

改新クラブ会派研修報告書		実施年月日	H31. 1. 15
		報告者	山口 文博
テーマ	市町村議会議員特別セミナー 第一講 政治の行方		
研修先	市町村 アカデミー	講師	TBS系「NEWS 23」キャスター 星浩 氏

## 1. 講義概要

### ① 日本を取り巻く情勢

#### ● 不透明な米国トランプ政権

米国は予算を議会が作り大統領に執行させる制度で、始めに2年に一回選挙がある下院が予算審議を行う。そので、現政権は下院議員が少数でねじれ現象のためトランプ大統領の政策に必要な予算が通らない。上院議員は人事権がある。

#### ● 東アジアの情勢

米国と中国の間に貿易不均衡あるが、中国人は国内で米国の車や家電などは買わない、さらに、近年は知的所有権の問題も起きている。その手口は、高レベルの知的所有がある企業や大学に中国人を長期的に勤め学びさせ技術を盗み中国に帰国させ、その人材を国家上げて支援活用する。

#### ● 経済の変調

安倍政権は、金融政策に頼りすぎているが、金利が低すぎてリーマンショックみたいのが起きたら日本は対抗出来ない。

### ② 日本の国内事情

#### ● 少子高齢化の進行及び外国人労働者問題

少子高齢化問題解決は、1、女性に子供を産んでもらう。 2、子育て支援の充実。 3、外国人を入れて働いてもらう。

日本の人口が減少しているが、その現象を止めるには女性の働き改革を進め子供を産みやすい環境作りが必要である。さらに、子育て支援の充実が欠かせない。

外国人労働者の問題は、居住性から賃金の高い都会に集まってしまい、地方の人手不足は無くならないので今の制度では限界があるため、外国人研修制度や移民制度（入管難民法）の改定や日本独自の移民政策が必要である。

#### ● 財政問題・経済成長や地方自治の行方

円安は都会の大企業には良いが、地方は円高の方が良い。  
アベノミックスは地方創生にならない、金利緩和が続いているので、経済成長が低く景気が良くなっている実感がない、そこで、金利が高い政治をするべきである。

米国は国中に拠点都市があり10年～20年の間に、東京都だけでなく地方にも拠点都市が日本でも必要である。

### ③ 今後の政治日程

- 通常国会

外交問題については、ロシアは北方領土問題・中国は安全保障問題・イギリスはEUからのルールなき離脱・トランプ政権（米国）は世界的に悪い方向に傾いている。そこで、日本は世界の国々と仲間づくりしG20では、各国の利害関係を調整しまとめ共同声明を出さなければならない、世界平和に貢献するには、技術・軍事・経済など自力をつける必要がある。

- 統一地方選挙

44 県で県議会議員選挙がある。

- 参議院選挙（亥年のジンクス）

6 年前の参議院選挙は自民党が勝ちすぎたので、一人区では共産党は立候補者を立てず野党共同候補者を支援し自民党対野党の戦いになる。

安部総理は 12 年前の選挙で破れておりトラウマになっているが、衆議院・参議院の同時選挙は中選挙制の時は自民党が複数立候補しているため、互いに（派閥）投票数を確保した、その投票数が参議院にも影響があり衆参の自民党議員が当選しやすく政権を維持してきた。されど、小選挙制になってからは一度もやっていない、そこで、安部総理はやらないと思う。

## 2. 所見

テレビコメントを聞いているような感覚になったので、珍しさが無かった。ただ、現在の日本が抱えている問題について再確認できました。特に、少子化については女性の社会的環境や子育て支援をフランス並みに早急に充実する必要があり、高齢化対策としても子供を安心して産んでもらう事が大切であると再認識しました。

外交問題としては、中国・朝鮮半島の国・露国・米国など難題が沢山有るが、日本は経済・文化・軍事などを強力に発展させ真の独立国として世界平和の構築に努力する事が必要と思いました。

参議院選挙は、一人区では与党の候補者は大変苦戦しそうで、その結果次第では安部政権に大きなダメージを与え政策の転換もあり得る。